

平成21（2009）年3月12日
第2回 緊急地震速報評価・改善検討会

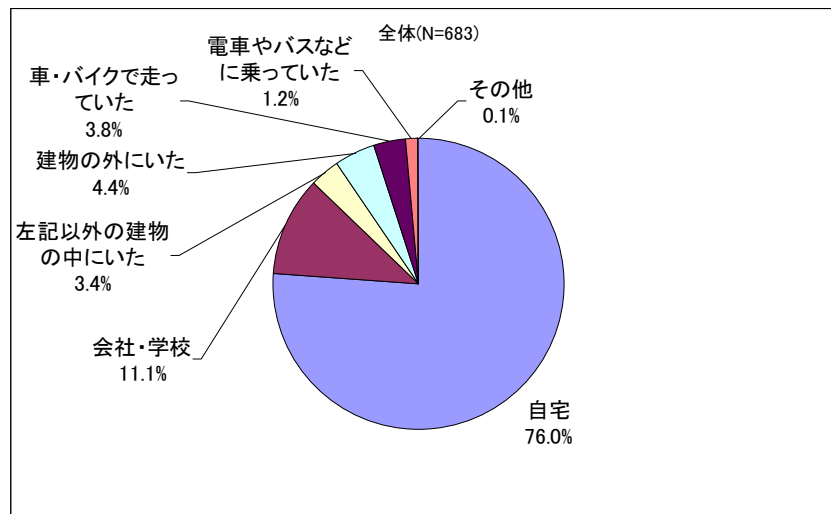
「岩手・宮城内陸地震」と緊急地震速報

日本大学文理学部社会学科
中森広道

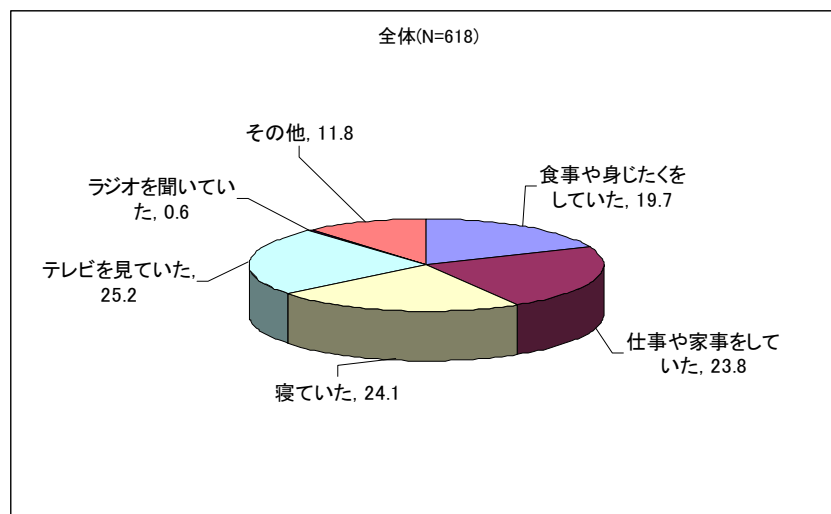
「平成20年岩手・宮城内陸地震」に関する調査
(緊急地震速報を中心とした調査)

- 調査期間 平成20（2008）年6月下旬
- 調査対象地
宮城県仙台市・岩手県盛岡市・福島県福島市
- 調査対象者 20歳以上の男女
- 調査方法 WEBモニターによるインターネット調査
- 回答者 683名
- 調査主体 株式会社サーベイリサーチセンター

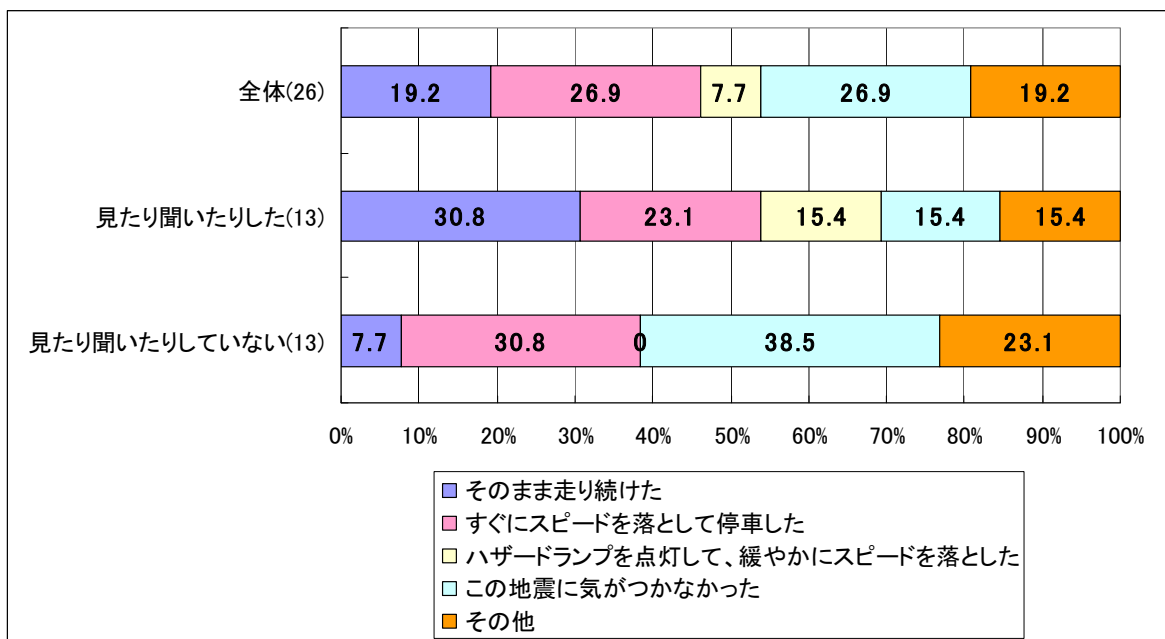
地震を感じた場所



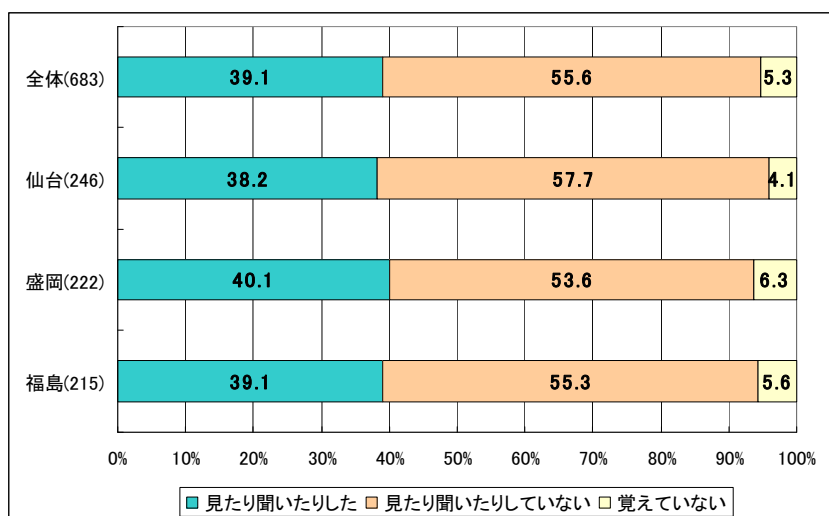
地震発生時に何をしていたか？ (家の中にいた人)(%)



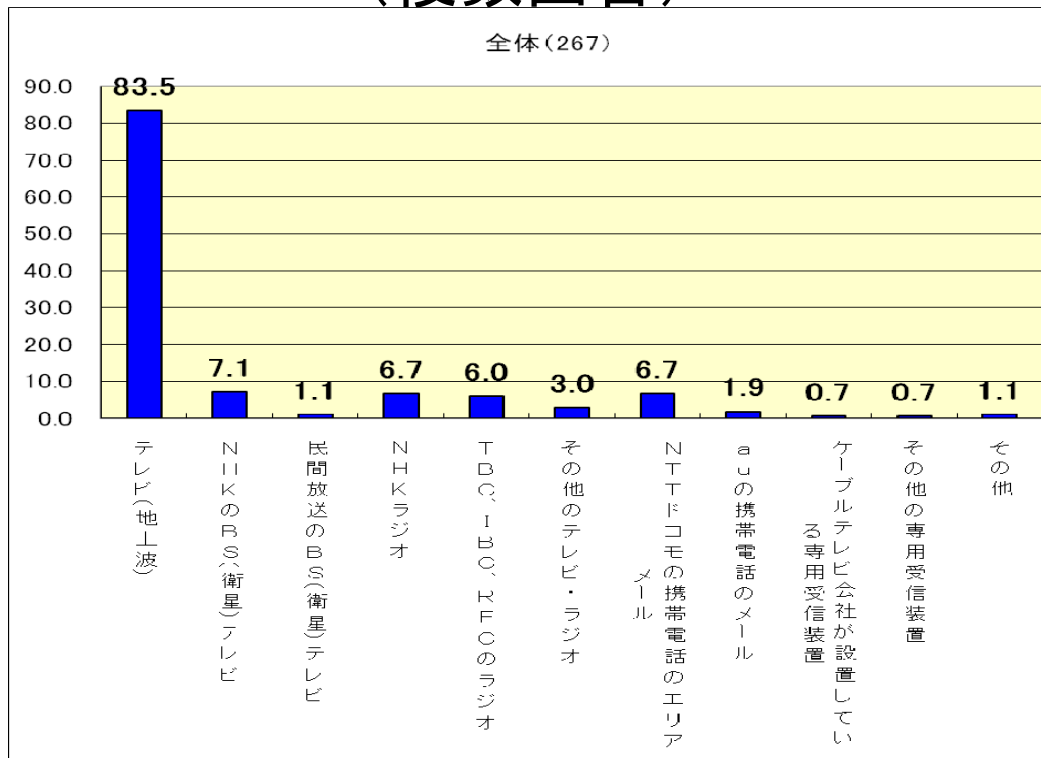
自動車運転中の対応(%)



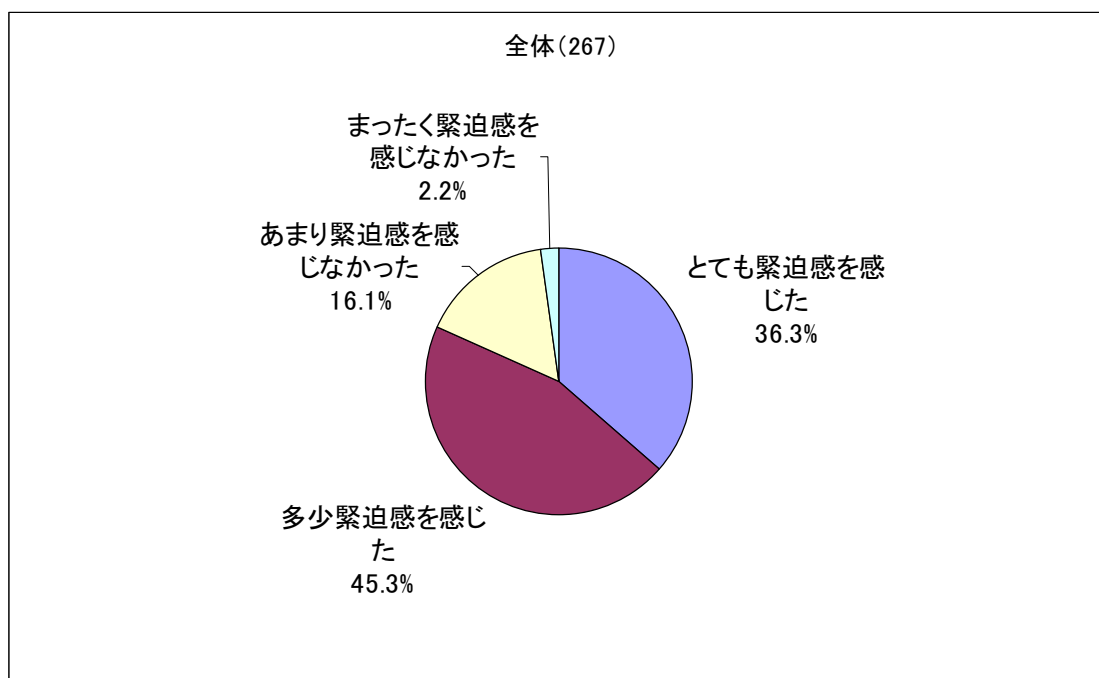
緊急地震速報の接触度(%)



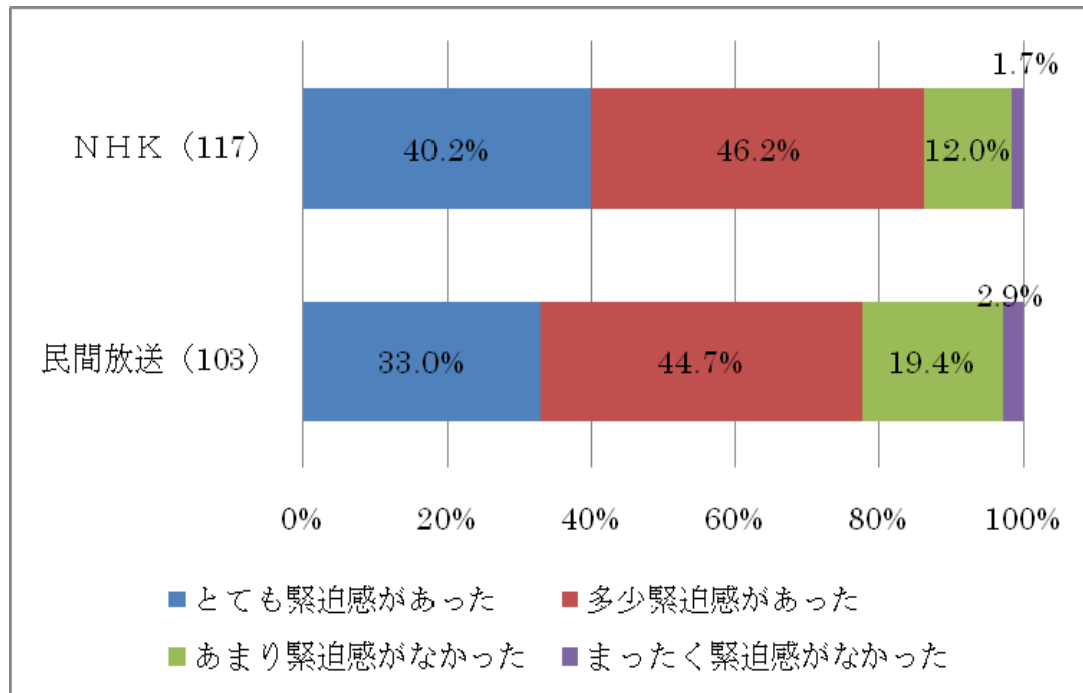
緊急地震速報の入手方法 (複数回答)



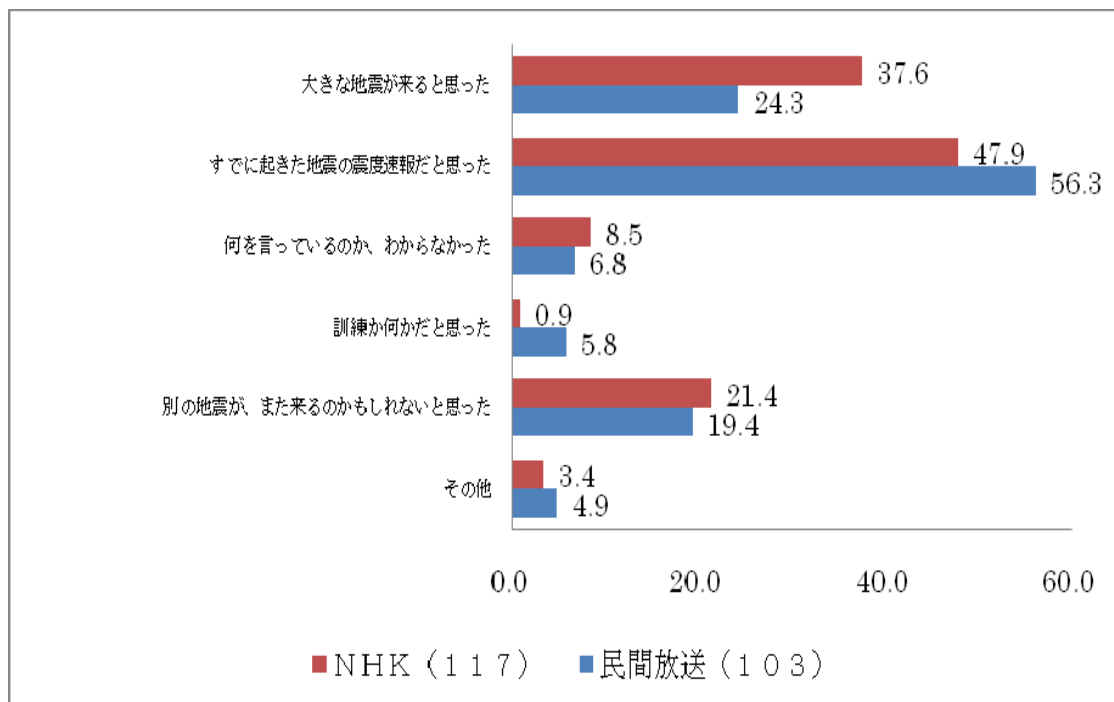
テレビの緊急地震速報の切迫感(%)



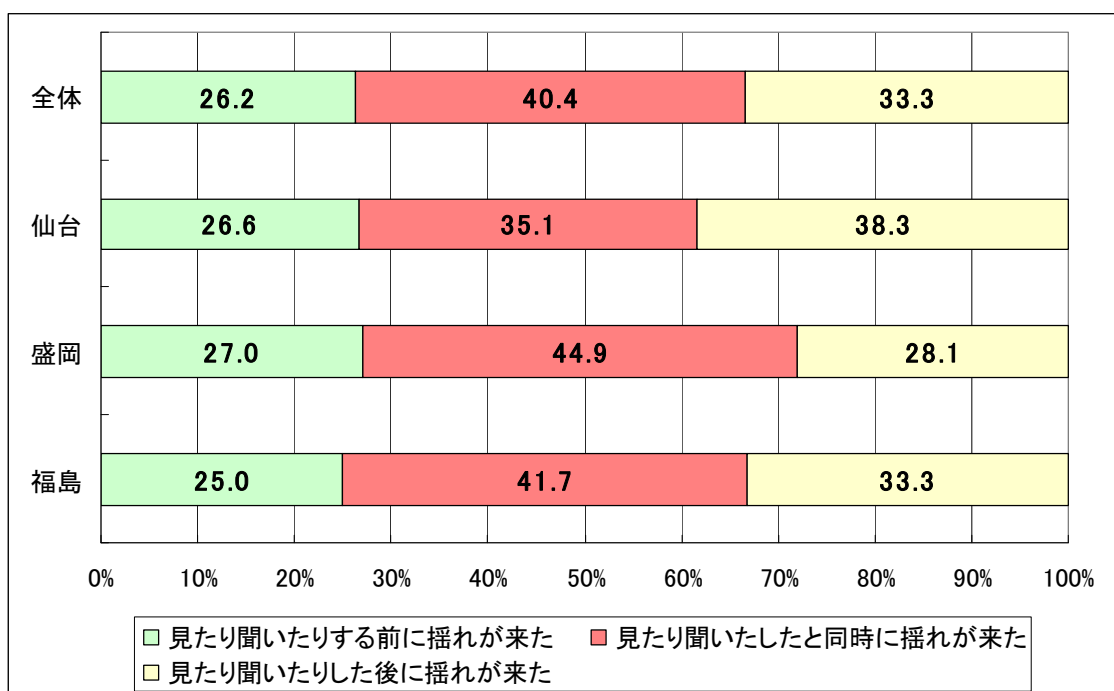
緊急地震速報の切迫感 (NHKと民間放送) [%]



「緊急地震速報」の印象(複数回答・%)



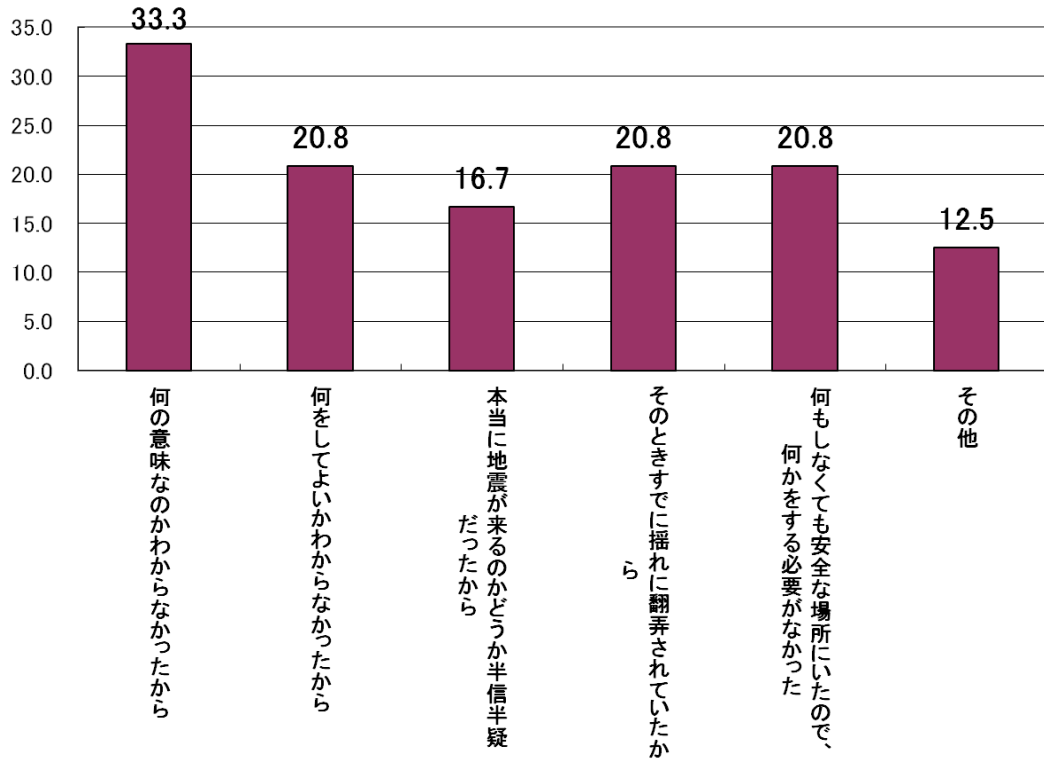
「緊急地震速報」と揺れの体感(%)



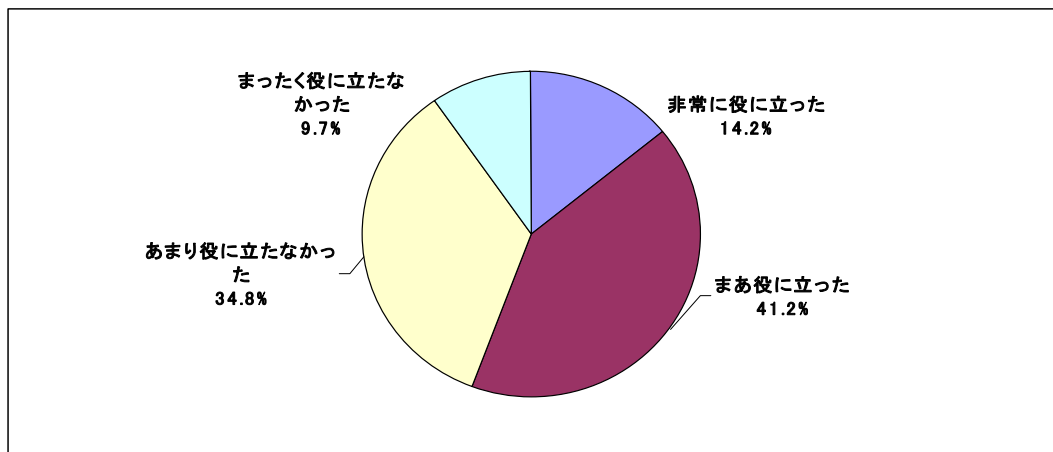
「緊急地震速報」に接触してからの対応(性別・複数回答)[%] (267名)

	男性	女性
すぐにテレビやラジオで、地震情報を知ろうとした	51.2	54.2
火の始末をした	13.0	18.8
家具や壊れ物を押さえたりした	19.5	11.8
安全な場所にかくれたり、身を守ったりした	5.7	12.5
丈夫なものにつかまって、身を支えた	4.9	4.2
様子を見た	39.8	38.2
家族や周りの人に声をかけて、地震が発生したことを知らせた	8.9	17.4
子供や老人、病人などを保護した	7.3	16.7
戸、窓を開けた	8.9	20.8
家や建物の外に出た	2.4	4.9
車・バイクを止めていた	3.3	2.1
その他	1.6	4.2
何もしなかった(できなかった)	9.8	8.3
無我夢中でおぼえていない	0.8	2.1

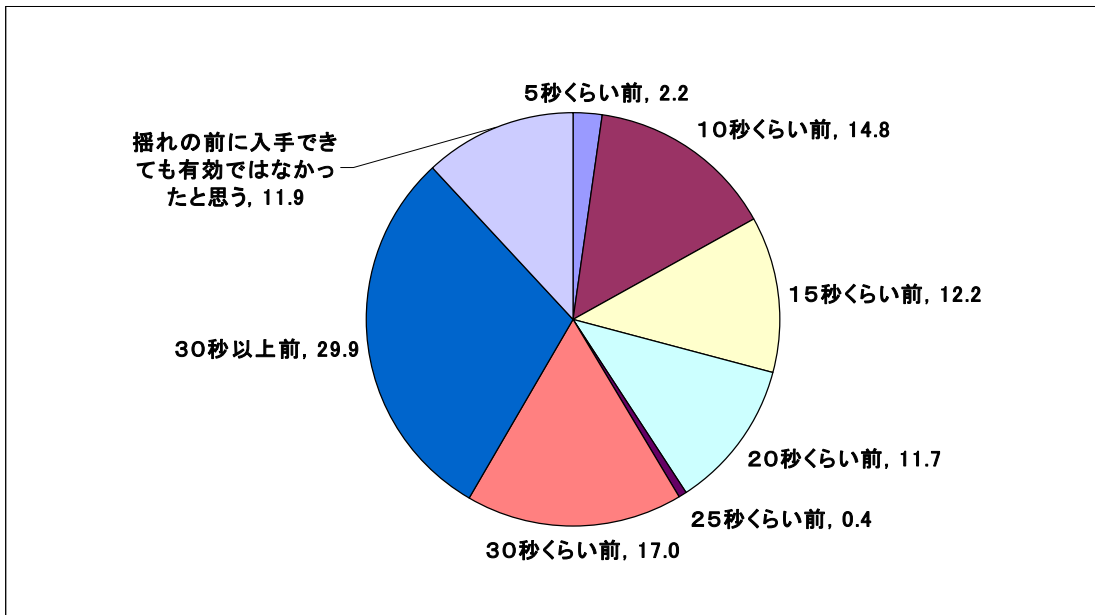
何もできなかった・何もしなかった理由(複数回答・%)



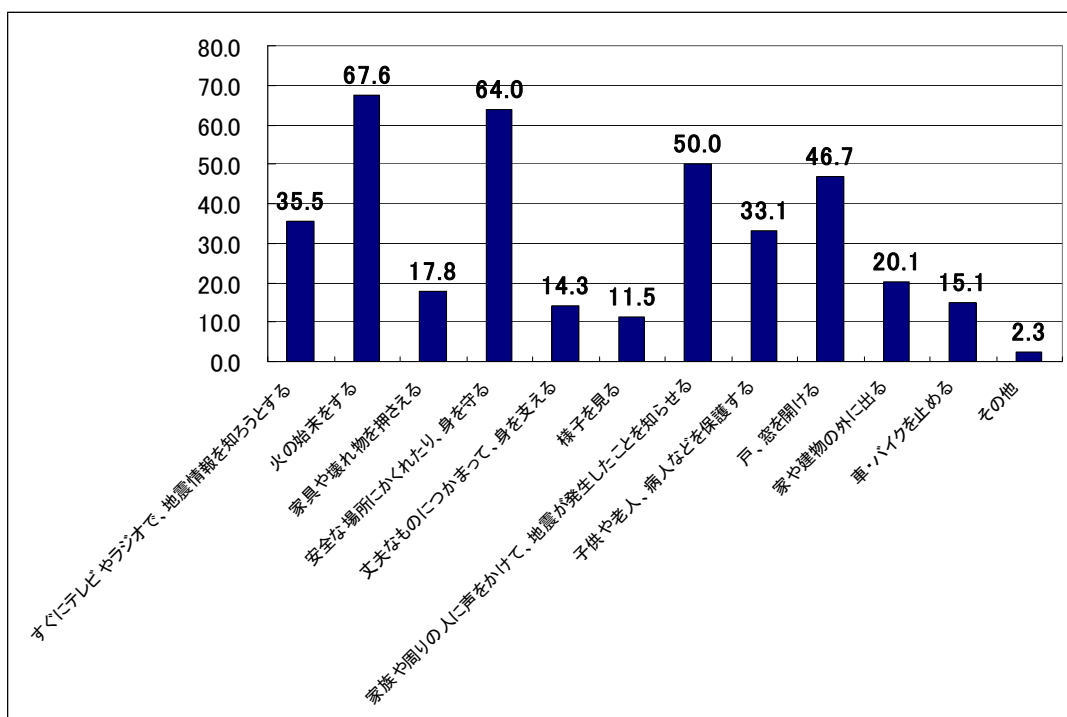
今回の「緊急地震速報」の評価 (267名)



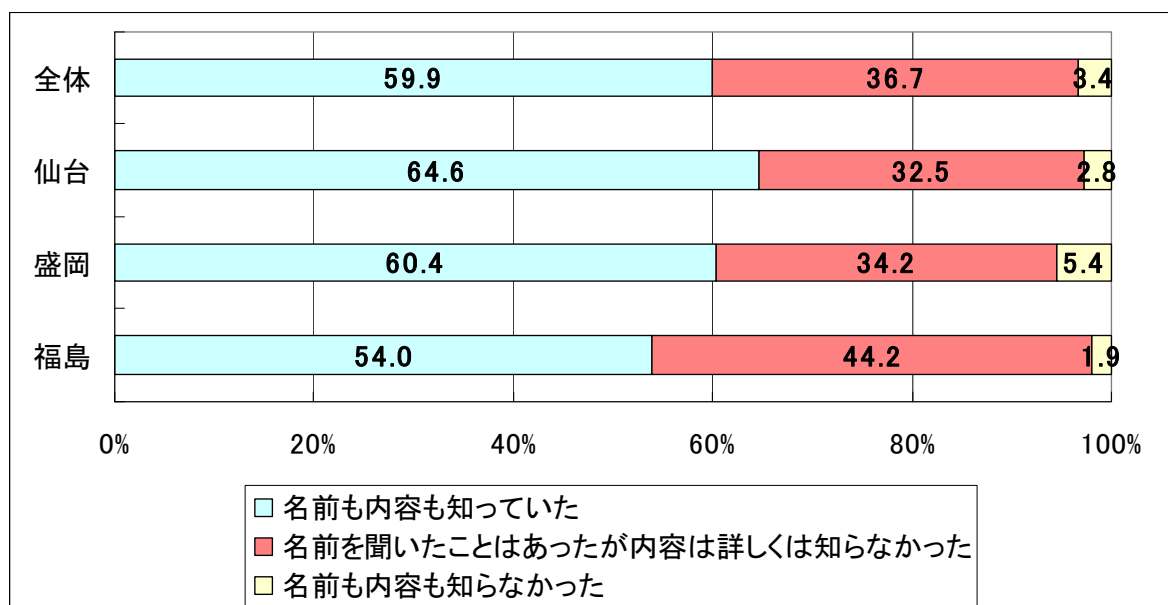
「緊急地震速報」を活かすために望ましい猶予時間 (%)



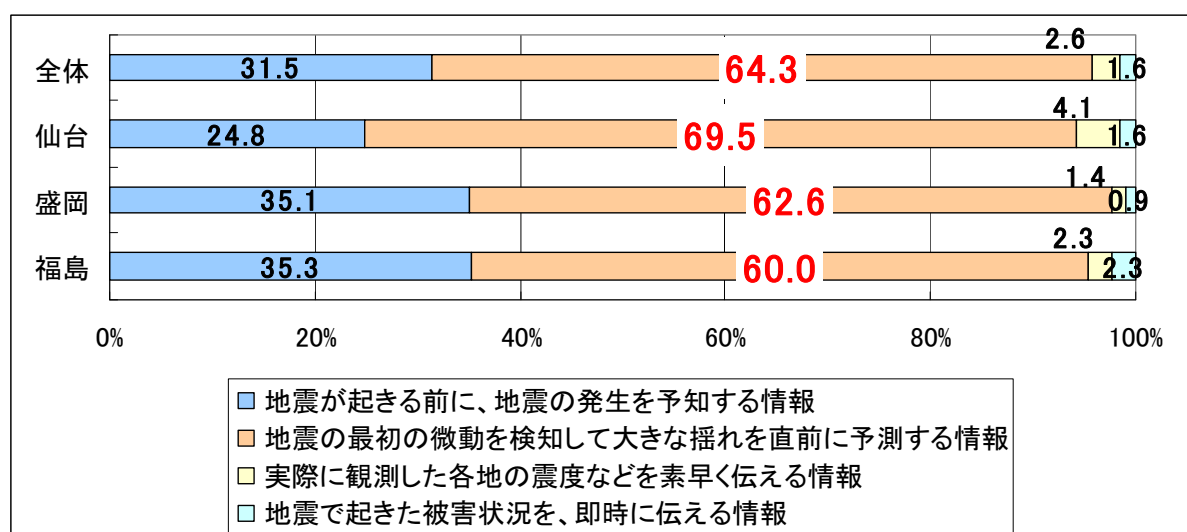
今後「緊急地震速報」を聞いたら何をするか？ (複数回答・%)



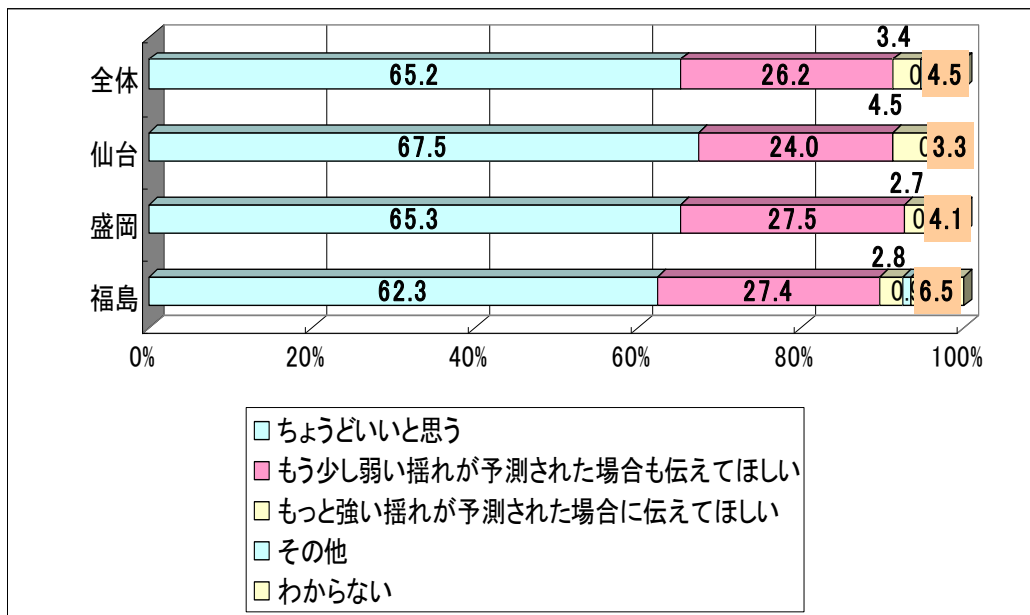
「緊急地震速報」の認知度(%)



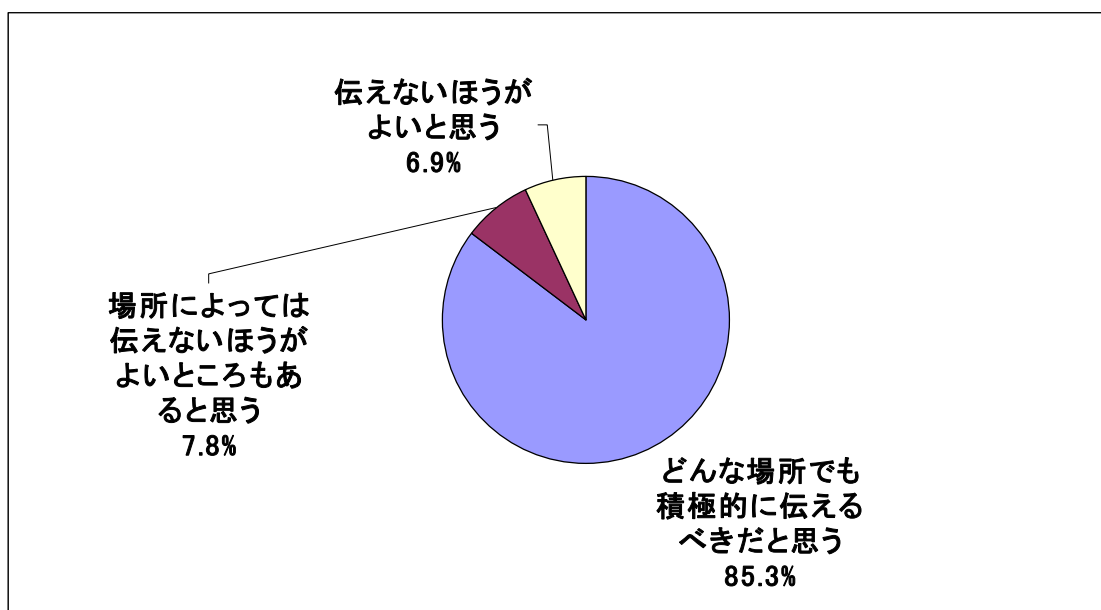
「緊急地震速報」の理解度(%)



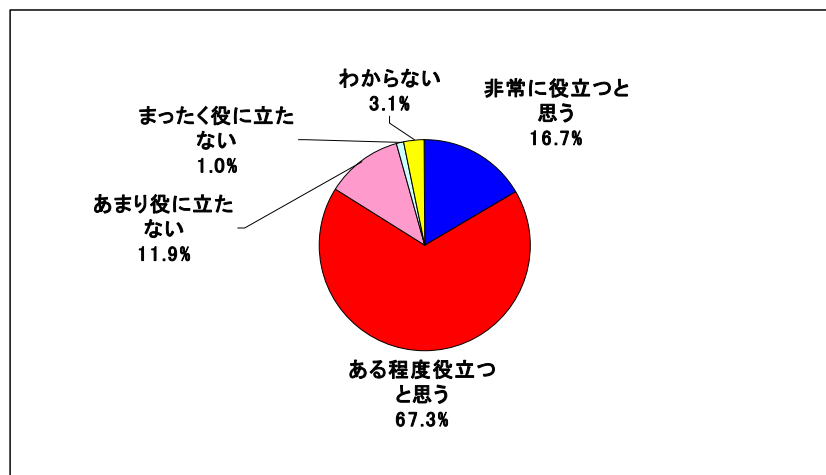
「緊急地震速報」発表基準(震度5弱以上)への評価(%)



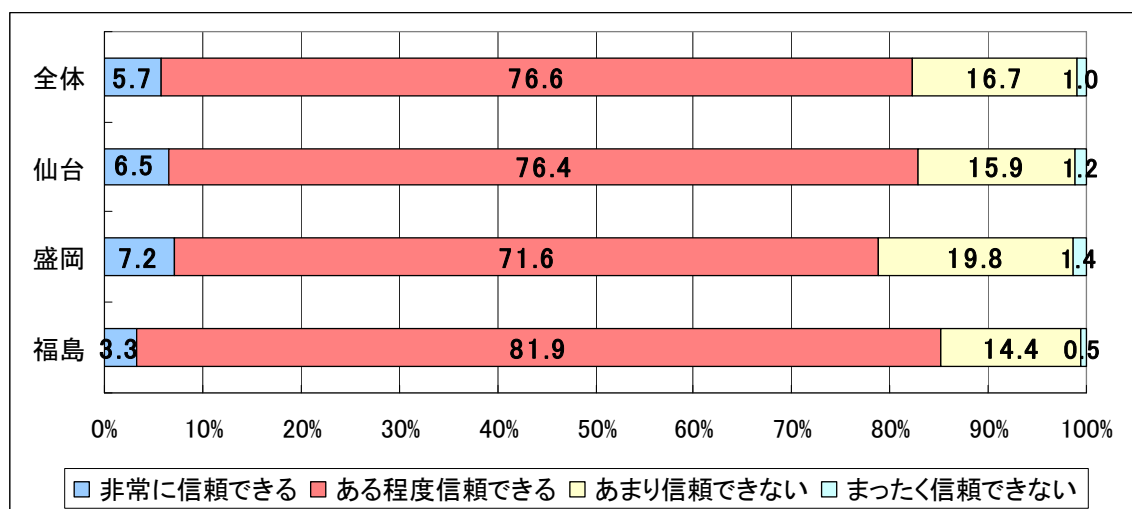
場所によっては「緊急地震速報」を 伝えないほうがよいか？(%)



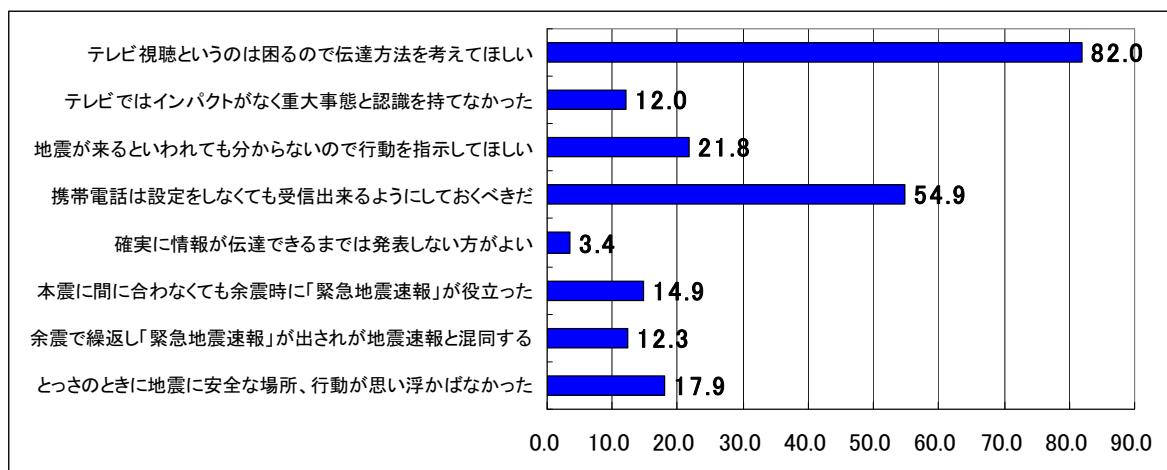
「緊急地震速報」は役に立つか？ (%)



「緊急地震速報」の信頼度 (%)



「緊急地震速報」に対する意見(複数回答・%)



参考：「岩手県沿岸北部の地震」調査
就寝中に「緊急地震速報」を得るために望ましい方法
 [複数回答・%] (534名)

